

# 仏生寺地区 地域福祉活動のとりくみ

～暮らしやすく魅力的な地域を目指して～

仏生寺地区自治振興委員会 仏生寺地区社会福祉協議会

# 1. これまでの地域福祉活動

仏生寺地区社会福祉協議会は、平成元年8月30日に設立され、今年で24年目を迎えます。

自治振興委員会や地区民生委員協議会、老人会などの地域の様々な団体が力を合わせ、地域住民の皆さんの生活が、安心して楽しく過ごせるものとなるよう、活動を続けてきました。

この報告書では、その活動の一部をご紹介します。

## (1) ふれあいづくり事業—ふれあいランチサービス

地域のお年寄りの交流や、憩いの場づくりのため、毎月1回、各集落の公民館などを利用して、「シルバー談話室」を開催しています。

また、地区の婦人会と協力し、



みんなでおいしいお弁当を食べます



介護予防のレクリエーションなどもしています

お年寄りの皆さんの会食交流会として「ふれあいランチ」も開催しています。開催のお声掛けをする時や、当日の様子をから、安否確認にもつながっています。

## (2) 子育て支援活動

### —とやまっ子さんさん広場（仏生寺っ子広場）事業



宿題もみんなでするよ！

平成 17 年から、地域の子どもたちが放課後や夏休みなどに、安全で安心して過ごせる居場所づくりを旧仏生寺小学校クラブハウスを活用し行っています。指導員は、民生委員などの地域住民が行っています。

#### 仏生寺っ子広場

場所 旧仏生寺小 クラブハウス

時間 平日 放課後～18時まで

休業日 8時～18時まで

これまでに延 1,441 人の児童が利用しました。



夏休みの工作活動の様子

## (3) 個別支援活動—ケアネット活動

地域の皆さんが安心して暮らせるよう、一人暮らしのお年寄りなどの見守りや声掛け活動として「ケアネット」活動を行っています。

ゴミの分別や玄関前の除雪など、ちょっとしたお手伝いで安心して暮らせる地区づくりを進めています。

## (5) 仏生寺地区を考える集い



各団体からたくさんの意見がでました

仏生寺地区社会福祉協議会では、前ページまでに紹介した活動を続けてきましたが、今後の地域の姿を想像する中で、地域福祉活動の担い

手となる住民が固定化や、後継者の不足、地域の過疎化、高齢化が進むにつれて、支援の必要な住民が増えてくることなどの課題を感じ、地区内の各種団体が連携し、住民一人ひとりを支える体制が必要ではないか、と感じていました。今後の地区社会福祉協議会の在り方や仏生寺地区の将来を考えることを目的に、平成



グループに分かれて話し合う様子

23年度から24年度にかけて自治振興委員会をはじめとする地区内の各種団体の協力のもと、「仏生寺地区を考える集い」を開催しました。

この集いの中で、安心生活創造事業の取組みを開始し、住民の皆さんの参加を得ながら、支援が必要な住民を支えられるような体制作りを目指すことになりました。

## 2. 安心生活創造事業とは

### (1) 安心生活創造事業とは？

地域住民が住み慣れた地域で安心した生活を営むために必要な対応を図っていくための体制を作るモデル事業です。

この事業は、厚生労働省の指定を受けた地域福祉推進市町村である氷見市が3原則を前提としながら取り組めます。

仏生寺地区では、安心生活創造事業の重点的な取り組みを行うモデルゾーンの指定を受け活動を行ってきました。この報告書では、これまで行った「仏生寺住民アンケート」の結果を紹介します。

### (2) 事業の3原則（ルール）

事業には3つの原則があり、仏生寺地区でも取り組んできました。

**原則1：公的なサービスは必要なくても、ちょっとした支援が必要な住民と困りごと（ニーズ）を把握する**

【仏生寺地区での取り組み】

- ・ 仏生寺住民アンケートの実施 …結果を7ページから掲載しています

**原則2：ちょっとした支援を必要とする人が、もれなく把握・支援される体制を作る**

【仏生寺地区での今後の取り組み】

- ・ 地域づくり協議会の設立で体制を強化
- ・ アンケート結果を踏まえ、地域の活動を協議、開始します

**原則3：それを支える安定的な地域の自主財源確保に取り組む**

# 3. 仏生寺住民アンケート結果 (一部抜粋)

調査期間 平成 24 年 12 月

調査対象 仏生寺地区全世帯

配布数 352 枚 回収数 307 枚 回収率 87.2%

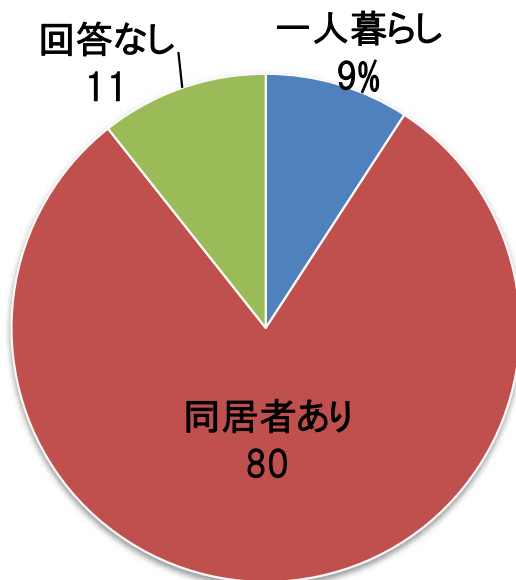
	人口	高齢化率※1	年少率※2
仏生寺地区	1,181 人	37.7%	6.9%
氷見市全体	51,885 人	32%	10.7%

(平成 25 年 3 月現在)

※1 全人口の内、65 歳以上の人口の割合

※2 全人口の内、14 歳以下の人口の割合

## 問 2-① あなたの世帯は何人家族ですか？

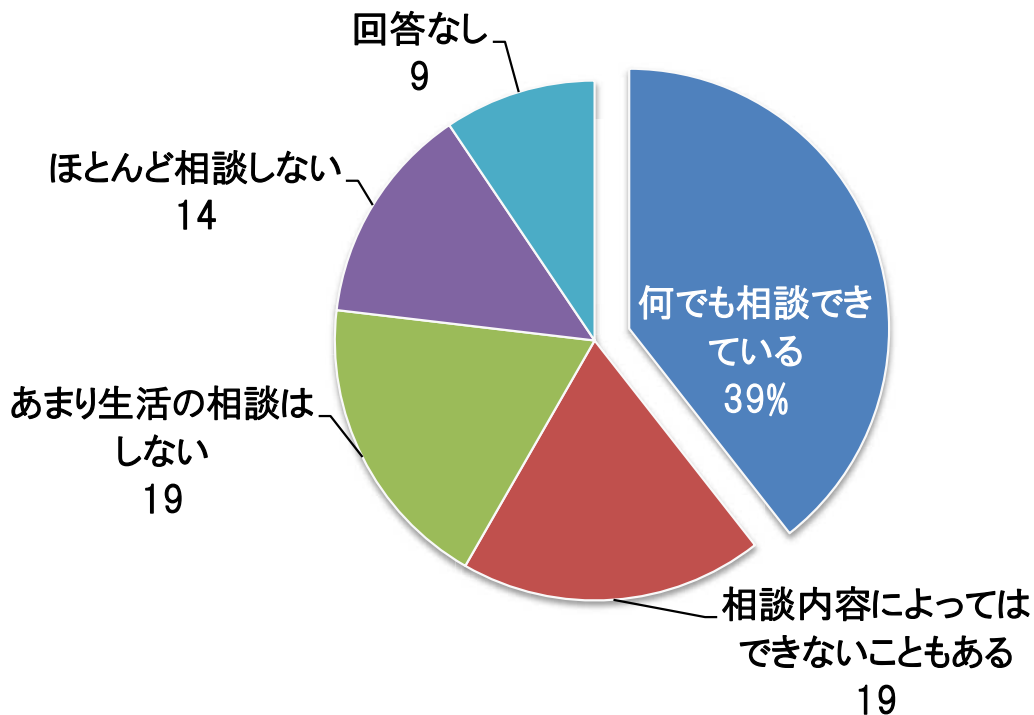


ひとり暮らし世帯は全体の約 1 割。しかし、同居者有り世帯を細かく分けると、その多くが高齢者との同居です。

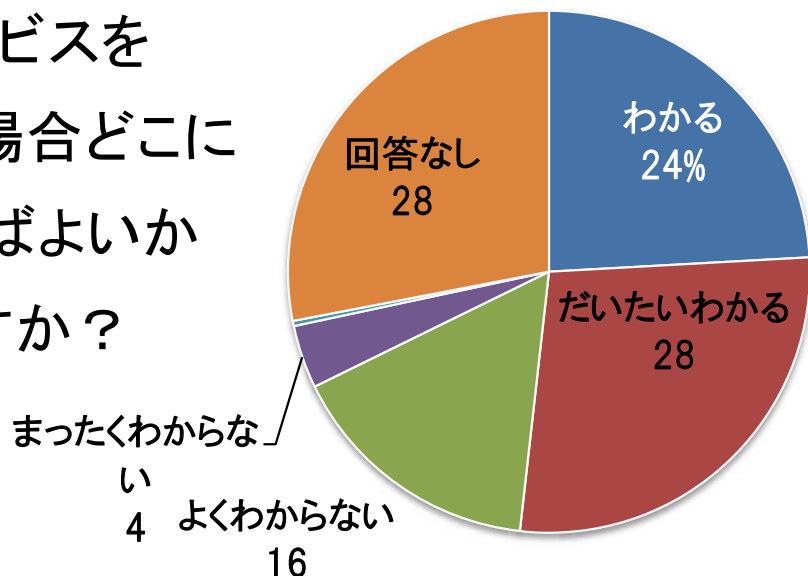


## 問 4 生活の困りごとがあった場合、

誰かに相談できていますか？



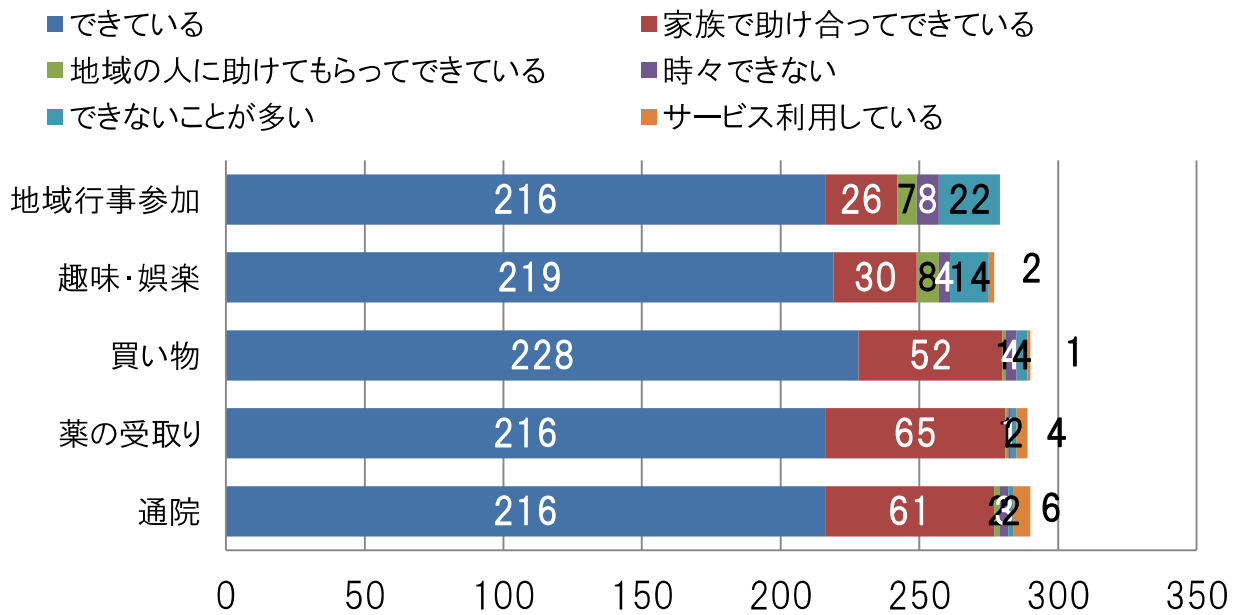
## 問5② 福祉サービスを利用する場合どこに相談すればよいかわかりますか？



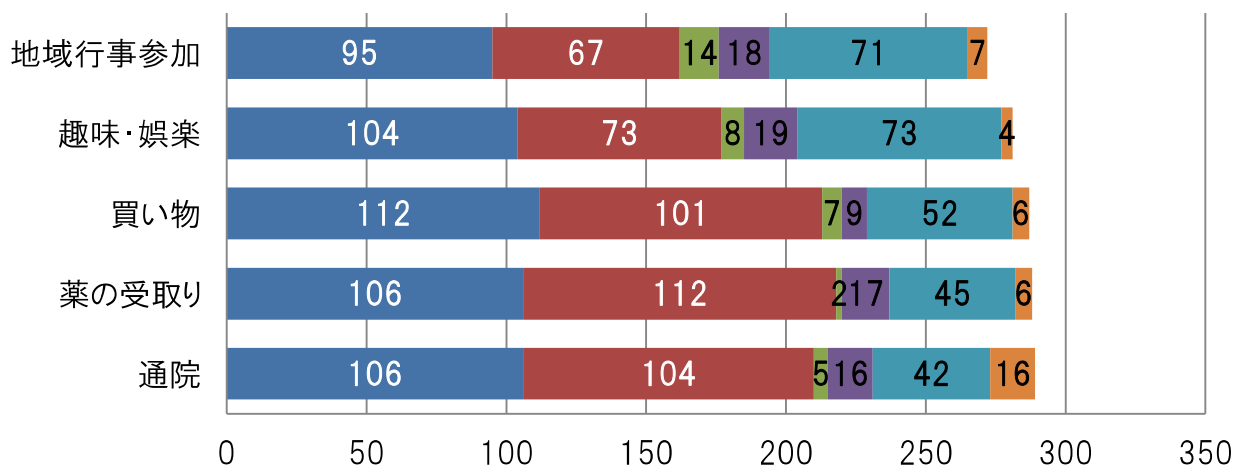
8割の家庭で同居者がいるにも関わらず、「何でも相談できている」と答えたのは全体の4割だけでした。6割の世帯で、相談できていない困りごとがあることがわかりました。

また、福祉サービスを利用するときの相談先は2割の世帯でわからないと答えています。

## 問 6-① 現在外出ができているか



## 問 7-① 10年後、外出ができているか

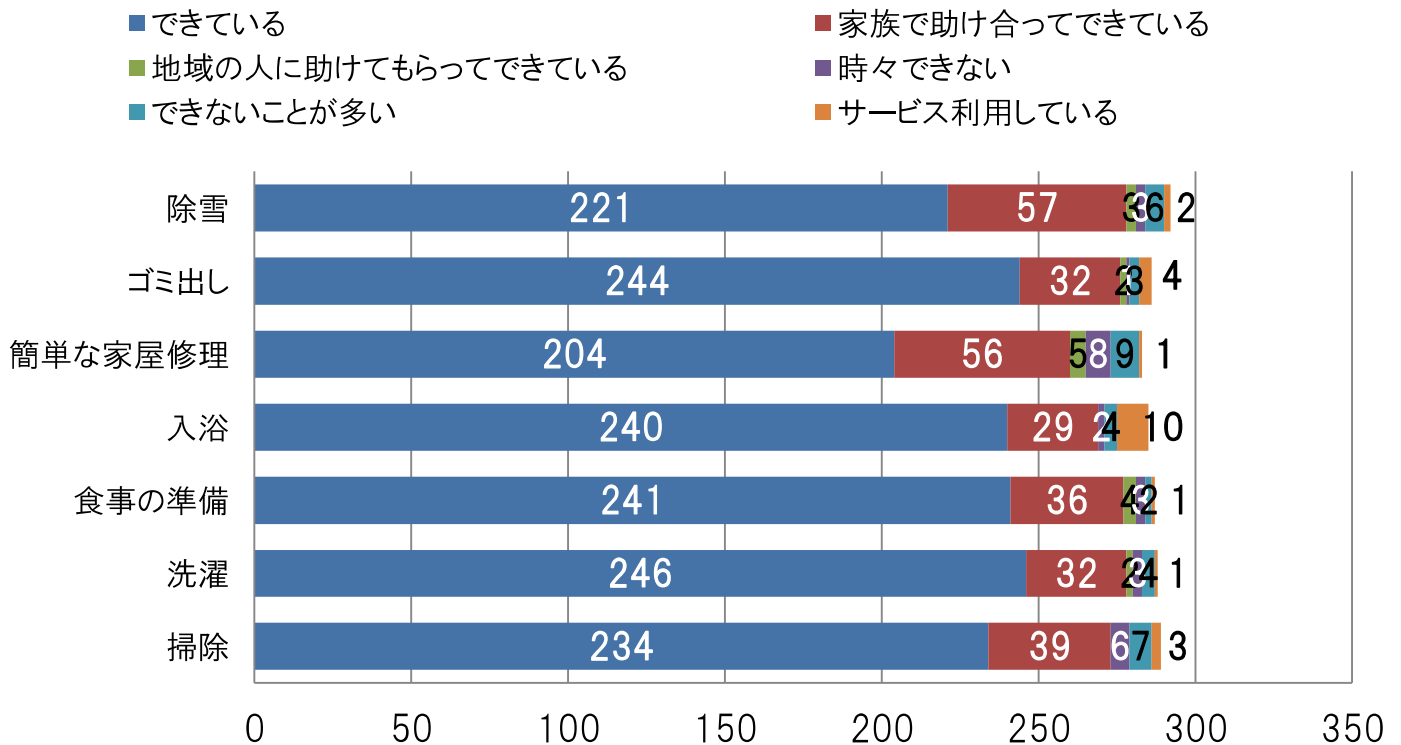


現在、外出について時々できない、できないことが多い、サービス利用していると答えた人は全体の10%以下であり、(全項目を平均すると6%程度)現在は、多くの家庭で、家族内で協力し外出していることがわかります。

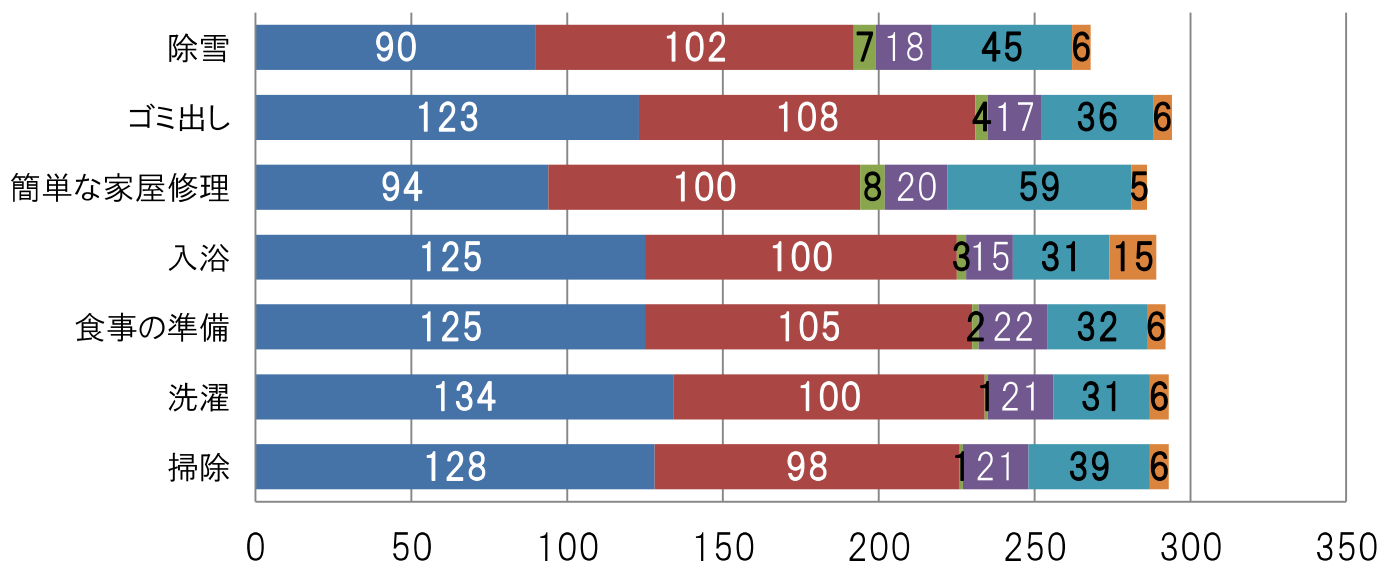
10年後は薬の受取りと買い物ができない回答者は、現在全体の3%以下ですが、10年後は23%まで増加します。



## 問 6-② 現在身の回りのことができているか



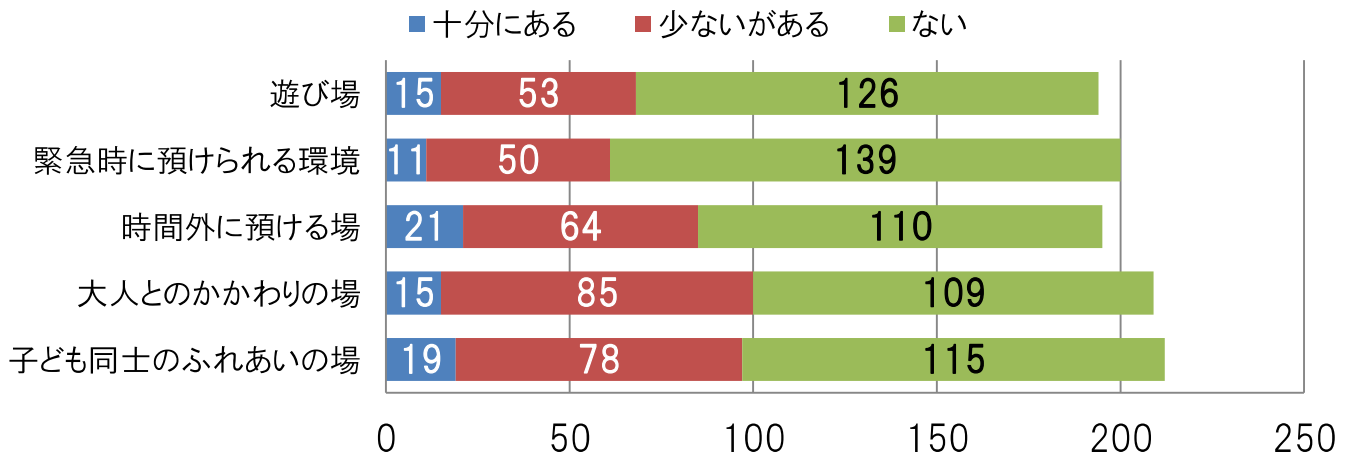
## 問 7-② 10年後身の回りのことができているか



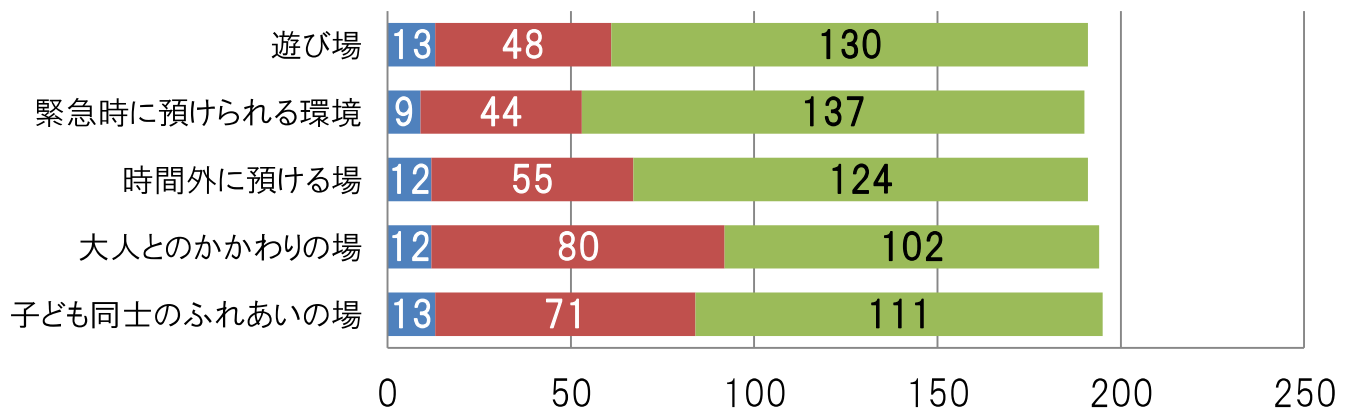
現在の身の回りの世話では、家屋修理、入浴、掃除で5%以上の回答者が困難を感じていることがわかります。

さらに10年後は、すべての項目で20%以上の回答者が困難を感じるようになりました。特に家屋修理は29%、除雪は26%のとなっており、将来の課題が予測されます。

## 問 6-③ 現在の子育て環境が整っているか



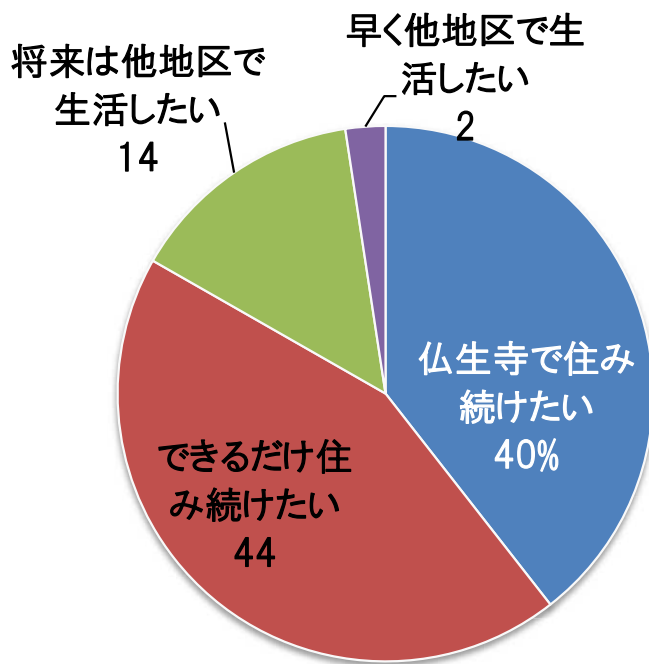
## 問 7-③ 現在の子育て環境が整っているか



現在は、「ない」と回答した割合は、すべての項目で 50%以上となっています。

また、10年後は、すべての項目で「ない」の割合が増加します。特に緊急時に預けられる環境については、72%まで増加します。子育てについて、設問の回答者の半数は「整っていない」と感じていることがわかります。

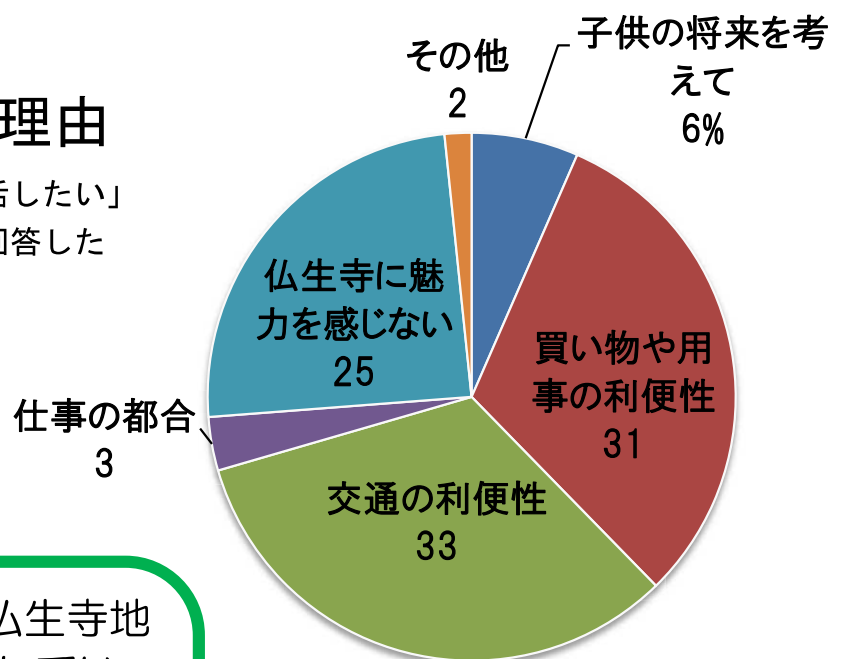
## 問 8③-1 今後も仏生寺に住み続けたいと思うか



## 問 8③-2 仏生寺を

### 離れたたい理由

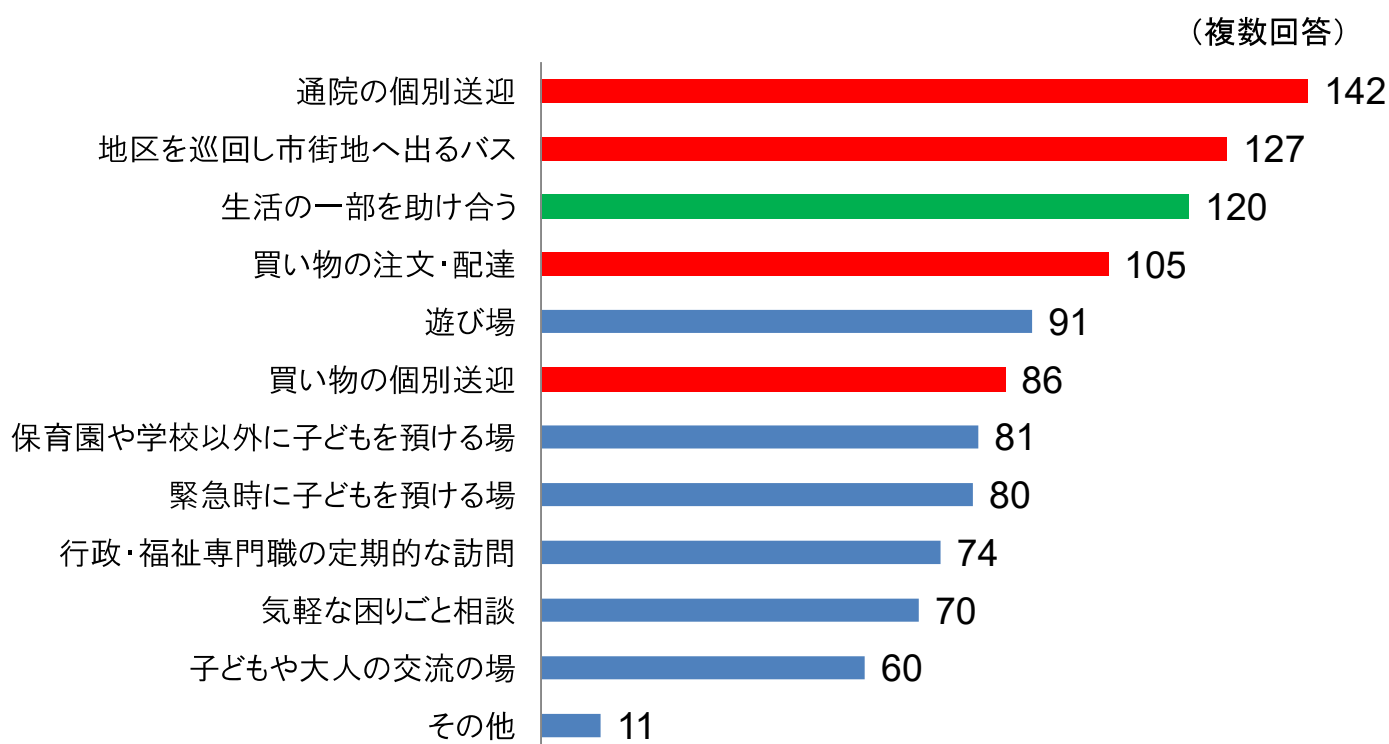
(前の質問で「将来は他地区で生活したい」「早く他地区で生活したい」と回答した場合のみ回答)



およそ 85% の世帯が仏生寺地区に住み続けたいと回答しています。一方で、他地区で暮らしたいと答えた理由のうち、4 分の 1 が仏生寺に魅力を感じないと答えており、今後の地域づくりが重要となる事がわかります。

## 4. 暮らしやすく魅力的な 仏生寺地区を目指して

問9 より暮らしやすい仏生寺地区にするために、  
地域独自であったらよいと思う活動は何か？



通院や地区巡回バス、買い物など、外出支援の取組みに期待する声が多いことがわかります。(グラフを赤色で表示)

また、「生活の一部を助け合う」(グラフを緑色で表示)にも3分の1の世帯からあったらよいと答えており、今後のケアネット活動の充実も重要であると考えられます。

今後は、地域づくり協議会を設置し、アンケート結果を参考にして、地域での新たな取り組みについて検討します。